

「三重県新エネルギービジョン」の策定について

1 新エネルギービジョンの策定について

新エネルギービジョンは、昨年度、県議会や策定懇話会等での議論を経て、平成 23 年 3 月に中間案を取りまとめました。

直後に発生した東日本大震災以降のエネルギーを取り巻く状況変化を踏まえ、安全で安心な地域エネルギーの確保に向けて、本県の地域特性を生かした新エネルギーの導入を一層図るため、三重県エネルギー対策本部において、新たなビジョンを今年度中に取りまとめていきます。

2 改定の方向性（案）について

ビジョン策定にあたっては、昨年度に議論いただいた中間案をベースにして、次の方向性に沿って、改定の検討を進めていきます。

(1) 県のエネルギー政策についての基本的な考え方

中間案では、新エネルギーを中心に導入促進に向けた考え方を示していますが、大震災を踏まえ、エネルギー政策は国や電力会社が考えるものというこれまでの固定観念から脱却し、県民生活や県内産業の基盤となるエネルギーの確保に向けた県の基本的な考え方として、次の項目を中心に新たに章立てして示します。

- ① 大震災を踏まえた今後のエネルギー政策に関する県の考え
- ② 当面の課題となる電力需給逼迫への対応
- ③ 新エネルギーを取り巻くエネルギー関連の事項（電源構成の原発比率の低減、化石燃料利用の高効率化、国への提言などエネルギー全般）

これに合わせて、ビジョンの基本的事項において本ビジョンで取り扱う範囲の明確化や、新エネルギーを取り巻く状況について、エネルギー基本計画の見直しなど国の最新動向を更新します。また、目標値についても、電力需給の逼迫を踏まえた県民にわかりやすい指標を検討します。

(2) 重点プロジェクト

中間案では、新たに理念、将来像を示すとともに、新エネルギーの導入に向けた取組を掲げましたが、導入を一層加速させるため、選択と集中の観点から、次のような重点プロジェクトを示します。

- ① 安全で安心な地域エネルギーの確保を押し進める礎となるよう、日照条件が比較的良いことや県土の3分の2が森林であるという本県の「強み」を生かしたメガソーラー事業誘致や木質バイオマス利用促進
- ② 併せて、これらのエネルギー施策と連動させ、さらに新エネルギーの推進を加速させるため、県内産業のポテンシャルを生かした環境特性に優れた部材開発・省エネ技術にかかる研究開発を進めるとともに、環境・エネルギー関連の更なる集積をめざすクリーンエネルギーバレー構想

これらの重点プロジェクトを示すことで、中間案で掲げた取組内容を整理するとともに、各主体の協創の観点から、各主体の役割と推進体制を整理します。